

会報 第15号 平成12年4月発行

みこしだこ

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
〒140-0001 品川区北品川2-2-10 TEL 03-3472-4772 FAX 03-3472-4770
URL <http://www.246.ne.jp/~fuji/> E-mail syukuba@cts.ne.jp

東海道400年祭

2001年は、東海道の宿駅伝馬制度が制定されて400年を迎えます。品川宿は、遙か昔から自然の良港品川湊を中心に栄えていました。また1200年以上の歴史を持つ寺社もこの地にあるという宿場町で、東海道の東西をつなぐ重要な拠点として日本最大の交通量を誇っていました。

1601年徳川家によって宿駅伝馬制度が決められ、江戸幕府が1603年に開かれると、より重要な役割を東海道も品川宿も担うようになりました。

ここに400周年という区切りの年を迎えるにあたり、東海道全体各宿場で数多くの行事・イベントが予定または準備されています。我が「しながわ」でも区内全体に広げられるイベントとして開催の準備に入りました。まちづくり協議会としながわ観光協会が呼びかけ人となり、2月15日実行委員会が発足しました。

東海道400年祭

～あらたな出逢い2001／しながわ～ 実行委員会
大会会長 斎藤 勇 品川区連合町会長
名誉会長 高橋 久二 品川区長
大会副会長 井上 裕之 東京商工会議所品川支部会長
中村 義 品川区商店街連合会会長
小川 寛興 品川区音楽文化協会会長
馬田 英雄 品川区連合町会副会長
相見 昌吾 品川区助役
運営委員長 堀江 新三 旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会会长

2001年2月10日には、「きゅりあん」で品川区民と東海道各宿場が集い『東海道400年祭』のオープニング式典を開催するとともに、これにあわせ、区民ミュージカルを行う事となりました。詳細は、近日中に発表となりますのでご期待ください。

400年祭まであと1年を切りました。

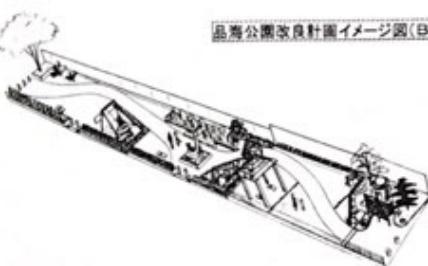
みんなで400歳の

お誕生日を祝いましょう。

(事務局長 平出 隆)

品海公園リニューアルオープン間近！

品海公園改良計画イメージ図(B)案



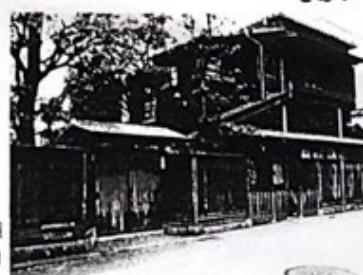
みこしだこ12号でお知らせ致しました通り、昭和44年開園以来ほぼ当時のままになっておりました品海公園のリニューアルオープンが、間近になつてまいりました。

今回の改修工事で、バリアフリーを主目的として園内の段差を解消することにより、人にやさしい公園に生まれ変わる予定です。また、東海道に面した入り口部分は、品川区のご理解のお陰で、多目的広場としての使用も可能になり、まちづくり協議会から寄贈される品川宿の松も植えられることで、まちの新名所となることでしょう。これに対し、地元である北品川一丁目町会・北品川本通り商店会とで協力をして、式典が予定されています。

東海道400年祭を控え、まちにとって新しいシンボルが誕生することは、とても喜ばしいことです。皆さんでお祝いをして、大切に守っていきたいものですね。

覚えておられますか？この10年で、
ひながわから贈られた建物。

その1



旧東海道
品川3丁目

品川駅東口再開発B1地区地鎮祭

J T跡地『シーサイドフォレスト』地鎮祭

1月26日(木)品川駅東口再開発B1地区の地鎮祭が行われました。地鎮祭に出席して、実際に現場に立つと、開発される規模の広さを改めて再認識させられました。当日、港区長のご挨拶の最初に、品川宿の話が出てきたことに手前味噌ではあります。品川と言えばやはり品川宿なのだと嬉しく思った次第です。

2月3日(木)青物横丁J T(日本たばこ産業)跡地において地鎮祭が行われました。当日、この新しく生まれ変わった地域の名前が『シーサイドフォレスト』と命名されたことが報告されました。また、開発予定地の詳しい各ブロックの図面が展示され、商業施設の素晴らしい姿が引ききました。

『品川駅東口再開発』『シーサイドフォレスト』と合わせ、ここ数年で品川宿周辺を巻き環境が大きく変化することはまぎれもない事実です。品川宿を挟むように大規模開発が2箇所行われることで、まちが衰退してしまうのでは?と心配される方もいらっしゃるでしょう。確かにこのままの状態を続け、再開発が進むのを黙って見てはいるだけでは、確実に衰退をたどってしまうでしょう。しかし逆に考えれば、品川駅に新幹線も停車するようになり、臨海副都心線も開通し、天王洲アイル駅・品川シーサイド駅ができる等、再開発施設と合わせて来街者が大幅に増加する可能性を秘めていることも事実です。これをチャンスととらえ、この歴史のまち品川宿周辺を再び繁栄させていくには、この来街者をどうお客様として取り込んでいくか?このまちに住んでいる人間としてどう関わっていくか?品川宿周辺にどう来街者を誘導するか?を真剣に考える時期が来ているのではないか。この愛すべきまち品川を繁栄させるも衰退させるも、今ここに住んでいる我々住民の考え方次第で、後世の子供達にこのまちを良い形で授せるかどうかが決まってまい。責任は重大です。

今後当協会といっしょに、開発企業との話し合いをもつて、この広大な再開発と品川宿周辺・企業と商店街の共存共栄を目指し、活動をしてまいります。皆様のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

皆さんも当協議会と共に、このまちの今後をどうしていきたいか真剣に話し合ってみませんか?

(堀江 記)

新春賀詞交換会

去る1月26日(木)産業スポーツプラザにおいて、恒例の新春賀詞交換会が開催されました。当日、高橋品川区長・井上東京商工会議所品川支部会長をはじめ、多くの来賓においていただき、また大勢の会員と合わせて出席者が140名を超えるほどの大盛況でした。

堀江会長の挨拶・高橋区長のご祝辞を頂戴した後、当協議会で推進している街頭松をつなげる事業にご協力をいただいた『保土ヶ谷四〇〇俱楽部』『南品川ガーデンホームズ管理組合』『マツヤハウジング(株)』の方々に感謝の気持ちを込め、感謝状が贈呈されました。

今回、高橋区長・井上会長より、東海道400年祭についてできる限り全力でお手伝いをするとの大変心強いお言葉をいただき、我々協議会員一同、どこよりも増して地元である品川宿周辺が盛り上がらなくては!と決意を強くいたしました。

また本年より、立会川の各商店街会長においていただけ、東海道を鈴ヶ森まで繋げていこうという意見で一致し、これから東海道周辺のまちづくり活動の輪が、ますます広がっていくことをとても嬉しい次第です。

最後に、今年の新春賀詞交換会にご出席いただいた皆様に力強い励ましをいただき、東海道400年祭の話題がとても盛り上がったことを心より感謝し、この日の熱気がもっと盛り上がるよう会員一同頑張ってまいる所存であります。皆様方のおなじくのご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

見えてのめすか?この70年で、
ひながわから消えた建物



土山宿『まちづくりシンポジウム』

に参加して

2月5日(日)滋賀県土山宿にて『新世紀まちづくりシンポジウム』が開催されました。3月末に『姫王郡行』のイベントを控えているためか、強い雨にもかかわらずホールは、ほとんど満席で400名以上の土山町民が参加され、まちづくりに対する熱意が伝わってきました。

メインの基調講演は、「気配りのすすめ」でおなじみの鈴木健二さんによる「21世紀への文化振興と町の活性化のために」という演題で、イベントに対する考え方やまちづくりについて考えさせられる話やためになる話等、時間の経つのを忘れてしまうほどの内容でした。

町を訪ねた時に最初に話した人の印象でその町が見えてしまうとの事、確かに私たちも現地で行った時のお店の人・タクシーの運転手さんや駅員さんの対応で、好きな町になったり嫌いになったりとの経験をした事が思い出されました。私たちまちづくり協議会も原点に返り、もう一度、足元を見詰め直し、次のステップにする必要な痛感してきました。自分達の町を愛し、自分達の手でこの町を愛してくださる方を少しでも増やし、この町で暮らす人、この町で働く人、この町に見える方すべてが楽しくなる品川宿にしましょう。

来年はいよいよ東海道400年祭です。この節目の年を良い年とするために今年1年、東海道の事・宿駅の事・品川宿の事など一つ一つ勉強しながら1歩1歩進んでいきたいと思います。

(事務局長 平出 隆)

その4



七番坂通り



北馬場通り

『東海道一人旅』まもなくゴール

インターネットホームページ『東海道品川宿』を作成してくださいました。浮浪雲さんが、昨年のゴールデンウィークに思い立って日本橋を三条大橋に向かって旅立って、はや1年この5月4日にゴールを迎える事となりました。

この間、旅の記録をホームページ上にU Pしました。8300余のアクセスを数えています。東海道と一緒に歩いたような気分にさせてもらえる『東海道一人旅』をぜひ一度お読みください。

<http://www16.big.or.jp/~wide/toukal/>
浮浪雲さんおめでとう、そしてお疲れさまでした。



『東海道一人旅』ホームページ

うかうか十年。

すっかり不況感がしみついてしまった今日この頃、都心型のマンションの売れ行きは好調なのですが、そういうまちにもずいぶんマンションが増えた。住民が増えるのは大歓迎だが、その分商店が減って、道を歩いていても建物から受ける圧迫感が増したような気がする。住宅も建て替えが進んで、その部分だけがセッタバックで道路が広がり、どうにもしまりのない路地空間が増えている。だれの指図でそうなっているのかは知らないが、好みと好まざるとにかかわらず、まちは日々確実に変化しているわけだ。

まちづくり協議会も設立から10年がたった。当時、まちの十年二十年先を考えられる人材として集められたメンバーも、また若手の会と称してパワーを発揮していた連中も、皆早く十歳ふけた。普段顔を合わせている分にはさしたる変化も感じないが、やはり確実にひと昔が過ぎてしまったのだ。

さて、ここでひと花咲かせねばと思うのは、このおじさん一人ではないはずだが、いかがか? ただ仲良しが集まってつづいているだけの会では、もう意味ないっすもんね。(S)

宿場便川

宿場便の初期登録会員からの注文が芳しくないのは、相変わらずの状況です。まちづくり会社の設立も、この宿場便の運営が軌道に乗らなければ立ち居かねないだろうという観測の元、なかなか難しい問題です。そういう中で、開始当初からの会員では、ただお一人梅本さんという方がコンスタントに注文し続けてくださっています。3月末までの宿場便の営業実績の28%ものご注文をいただいております。しかし、いつまでもお一人にはかり頼っている訳にも行きません。

2月12日(土)には、販促活動として、日産スポーツプラザさんのご好意で、ご近所の方々への感謝イベントの際に宿場便のブースを出店させて頂き、紹介に努めました。また晴楓ホームへの配送も、2月初旬から何とか開始いたしました。しかし、ＩＴビジョンの使用を免除するというその発注方法の特殊性からか、カタログに載っていない商品の注文が来たりとか、注文書の商品コードがカタログと違っていたりとか、折角設定した個人番号が勝手に変更されていたりとかゆうトラブルが続出しており、あるいはまた、代金の回収方法を月締めにして欲しいだとか、その度に小浅さんの手を煩わせています。しかし、その試行錯誤の繰り返しと積み重ねが、4月からは同じ福栄会の東海ホームからも宿場便を利用させて欲しいという要請もあることですし、今後へのノウハウになるんだと自分自身に言い聞かせています。

新規加入の会員の方々からは良い話が何もないのかというとそんなこともあります。2・3月中に、八潮団地と西品川の百反坂の中程のお宅から、2軒とも木曜日の夜間配達でしたがご注文をいただきました。距離的にいえば品川宿の外側なので、配達には時間も掛かりますが、そういうエリアの方々からこそ本当のニーズが得られるのではないかは思っています。新規会員の中でも出色なのが山辺さんという方で、週1回必ず注文を下さいます。その発注のし方がまたユニークなのでご紹介させていただきます。普段はマンションで一人住まいをしているのですが、矢張りご高齢のためか機械の扱いが上手くできません。そこで、週1回横浜の方にお住まいの息子さんが、様子を見がてらITビジョンの打ち込みをしに来るのだそうです。そして、1週間分の食料やその他身の回りのものを宿場便で頼むのだそうです。在宅ケアや、訪問看護・老人介護だとかいうものの新しいあり方のひとつのケースになっていくのではないか、又そういったものを宿場便が演出しているのかと思うと何だか楽しくというか、うれしくなってきます。

何れにせよ、継続は力なりとは言うもののこの宿場便を続けていくには、コンサルティングをしてくださっているP & Sの方々は勿論、会議やら毎月のカタログの打ち替えやら、我々店側スタッフの時間と労力の費やし方は並大抵のことではありません。しかし、晴楓ホームを始めご利用いただいているお客様達から、配達のたびに「便利よネー」とか「本当に助かります」とか、「お蔵で楽になったワー」等と言ってもらえると、冥利に尽きるというか、役に立て良かったナーと思ってしまうのだから不思議なものです。今後も、宿場便を必要とし、頼りにしてくださる人がいる限り、頑張らなければならぬと思います。

(文責：宿場便相当 篠原)

<活動報告>

- H 12

 - 1. 5 品川区賀詞交換会出席
 - 1. 7 臨時運営委員会
 - 1.12 保土ヶ谷四〇〇俱楽部がやがや会新年会出席
 - 1.17 審査便会議
 - 1.17 臨時運営委員会
 - 1.18 東京青年会議所品川区委員会賀詞交換会出席
 - 1.24 事務局会議
 - 1.25 運営委員会
 - 1.26 品川駅東口B1地区地鎮祭出席
 - 1.26 新年賀詞交換会
 - 2. 3 J T跡地ショットフレスト地鎮祭出席
 - 2. 3 審査便会議
 - 2. 6 土山宿『まちづくりシンポジウム』出席
 - 2. 8 臨時運営委員会（八ヶ山アーバン説明会）
 - 2.12 日産ズーワーク感謝祭にて宿場便ブース出店
 - 2.15 東海道400年祭実行委員会
 - 2.22 ハイホール品川区民シンポジウム出席
 - 2.28 電子御用聞きシステム（食品流通機構）会議出席
 - 2.29 運営委員会
 - 3. 2 審査便会議
 - 3. 6 東海道53次シンポジウム連絡会
東京神奈川ブロック会議（川崎宿）出席
 - 3.24 品川地区商店会長会議（400年祭）
 - 3.28 運営委員会
 - 3.30 審査便会議
 - 3.30 臨時運営委員会

編集後記

本号から編集をお手伝いさせていただくことになりました田村です。まちを魅力的に育てていくということは、想像以上に大変なことです。でも、自分の住んでいる地域について、真剣に考えることは、とても楽しいことだと思います。しながら今は今でも充分魅力的なまちですが、もっともっと素敵な部分がふくらんでいくってくれたらいいなと願っています。

の将来を、著文、小説でも書かれてゐることは、
必ずあります。